

岩山漆芸美術館の閉館について

平成 21 年 11 月 10 日
商工観光部・総務部

1 岩山漆芸美術館の閉館について

11 月 8 日に複数の新聞において、岩山漆芸美術館が 11 月末で閉館するとの報道があった。11 月 9 日に職員を派遣して聴き取りを行った。

全館福館長からの聞き取り内容は、次のとおり。

- (1) 美術館をやめるとはっていない。今までも冬期間は休館しており、光熱水費がかさみ、入館者も少なくなることから、今年も冬場は閉じたいと考えている。
- (2) ベ・ヨンジュン氏が所属するキーイースト社では、新聞等の報道に接し、反対のある事業には出資できないといわれ、提携が困難になった。
- (3) 美術館を運営している韓オリエンタルトレジャーは、キーイースト社の出資を前提に設立したものであるから、解散したい。その代わり、NPO 団体などで運営できないか、良い方法を模索したい。
- (4) 12 月 16 日からは、東京の韓国文化院で漆芸の作品展を行う予定としている。そのほか、大阪、韓国でも展示会を行う予定であり、閉館を考えていない。
- (5) 経営は、初期投資の分が赤字になっているが、ランニングコストは何とか充足している。

2 今後の対応について

- (1) 市の対応については市内チームで調整して、美術館側と協議する。
- (2) 8 月分から 10 月分までの賃貸料及び保証金（敷金）並びにふるさと雇用基金特別事業の前払金については、早期に支払いを求めることとし、11 月 20 日を目途に返済計画書の提出を求める。